

マンスリータイムズ

2月号 県立はまゆう支援学校

★ 寄宿舎の紹介 ★

はまゆう支援学校寄宿舎では、今年度21名の児童生徒（小学部1名、中学部3名、高等部17名）が生活しています。本校は校区が広く、スクールバス等で通うことのできない遠隔地に住んでいる人が入舎対象となりますが、それ以外にも、高等部生を中心に、卒業後の自立した生活をめざし入舎している生徒もいます。

基本、掃除や洗濯、身支度等、身の回りのことは全部自分で行います。そのうえで、大勢の仲間と共に生活するなかで、当番活動、生活のルールを守りながら、お互いを意識し、仲間としての思いやりやつながりを大切に、日々をすごしています。

「端午の節句」や「ほたる観賞」、「夏祭り」（寄宿舎内にお化け屋敷や出店ができます）、「グラウンドゴルフ大会」、「冬のお楽しみ会」（サンタさんがやってきます）、お別れ会を兼ねた「お食事会」など、季節ごとに楽しい行事が目白押し。お隣の南紀支援学校寄宿舎の仲間との交流会では、ゲームやカラオケ等で盛り上がります。

今の仲間との生活ももうすぐ1年となります。お互いに理解し合い、いろいろな人と関わって生活する楽しさを味わいながら、それぞれのコミュニケーション力もずいぶん高まりました。

4月には、メンバーも大きく入れ替わり、新たなつながりのスタートとなります。

★ 第63回書初会入選(小・中学校・高等学校) ★

小・中学校書初会「1部（硬筆）、2部（毛筆）、3部（毛筆自由作品＝漢字1字）」のそれぞれに、小学部から25名、中学部から4名が出品しました。1月26日、27日の両日、郡審査（金賞・銀賞・県審査候補）、2月2日に県審査（特選・準特選・入選）があり、各賞が決まりました。

★結果：○3部郡審査で、「金賞」が小学部2名。

○2部郡審査で、「金賞」が中学部1名。

高等学校の書初会には、選択書道や国語、クラブで取り組んだ40名の作品を出品しました。半切1/4（35cm四方）という規定の紙に、毛筆で好きな漢字を書きました。2月2日に県下の高校生の作品が一斉に審査され、「特選」「準特選」「佳作」が決定されました。

★結果：「特選」8名 「準特選」10名 「佳作」22名。



※年を追うごとに、書に興味を持ち、「筆で書く」ことを楽しむ子どもたちが増えてきています。

★ マラソン大会（小学部・高等部） ★

毎年、冬のこの時期に、体力づくりの一環として、マラソンに取り組んでいます。

今年は、2月13日（月）に高等部が、2月17日（金）には小学部が、マラソン大会を開催しました。（中学部は、年間を通じて朝の時間帯にランニングの取り組みを進めており、マラソン大会は行っていません）

小学部の児童は、0.8 km、1.2 km、2 kmの3つのコースでゴールを目指しました。途中、しんどくなって歩きだす子どももいましたが、学校の近くまで戻り、ゴールが間近になると、どんどん元気がわいてきて、みんな最後は力強く走ってゴールしました。



高等部の生徒は、1.2 km、2 km、3 km、4 km、5 kmの5つのコースにエントリーしました。走るのが得意な生徒は、日頃から自主的にトレーニングに励み、本番もタイムを意識し、終始力強い走りを見せていました。

沿道での保護者の方やあけぼの園の職員さん方の応援は、何より心強い励ましとなっていました。

★ 3月の主な行事 ★

★卒業式

○高等部卒業式

3月 9日（金） 午前10時開式 県立はまゆう支援学校体育館

○小学部・中学部卒業式

3月16日（金） 午前10時開式 県立はまゆう支援学校体育館